

安全作業手順書【剝落防止対策工(①ハイブリットシート設置)】

作成日・ 改正日	2025/4/1 (前回改正：2024/4/1)	現場名	東名高速道路(豊田IC~春日井IC) 名古屋第二環状自動車道 (名古屋IC~飛島北IC,有松IC~上社JCT)
機器工具	高所作業車、小型移動式クレーン、テッパー、刷毛 脚立、サンダー、ハンマードリル、清掃用具一式	保護具	ヘルメット、安全チョッキ、安全くつ、保護メガネ、 切創作業用手袋、軍手、皮手袋、保護マスク

可能性(A)	見積もり基準をした危険性の評価			
	重大性(B)	軽微 (不休と休業3日以内)	△ 重大 (休業4日以上)	× 極めて重大 (死亡・障害が残る)
○ ほとんど起こらない (5年に1回程度)	○ ○	○ ○	○ ×	○ ×
△ たまに起こる (1年に1回程度)	△ △	△ △	△ ×	△ ×
× かなり起こる (6ヶ月に1回程度)	× ○	× △	× ×	× ×

危険性又は、有害性の評価と危険度の判定基準例			
危険性の見積もり	危険性の評価	危険度	判定
× ×	極めて重大	5	即座に対策が必要
× △、△ ×	かなり大きい	4	根本的対策が必要
× ○、△ △、○ ×	中程度	3	何らかの対策が必要
△ ○、○ △	かなり小さい	2	現時点では必要なし (標準作業)
○ ○	極めて小さい	1	対策の必要なし

作業区分	作業手順・作業内容	急所	危険ポイント (~なので~になる)			リスクの見積り			安全対策(危険度2以下へ) (私達はこうする)			リスクの再見積り		
			(A)	(B)	リスク	(A)	(B)	リスク	(A)	(B)	リスク			
準備工	作業確認 作業の打合せ(KY)を行なう 作業員の役割(運転手、助手)を決める 作業場所及び車線を確認する 交通規制状況を確認する 使用機械、工具等の点検を行う ケーブル近接協議の内容を確認する 小型移動式クレーン及び高所作業車の点検を行う しらすだーの動作確認及び点検を行う 使用材料の安全データシートを確認し、取扱い方法、使用時の防護状況を把握し、危険性の周知を行う	作業員全員で 免許証・免許区分の確認を運転手・助手の二人で行って 下下、kp等の情報を踏まえ、作業員全員が理解できるように 必ず当日の規制簿を使用して 作業前に 試掘を伴う場合は協議日を確認して 手順書に則り 朝礼時に作業員全員で毎日動作確認をする	手順を間違えて思わぬケガをする	△	×	4	全員で手順書、KYの内容を周知する	○	○	1				
			免許区分の理解不足で、無免許運転をしてしまう	○	×	3	乗車時に必ず免許区分明示車両両方から確認する	○	△	2				
			/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		
			/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		
車両確認	車両確認 作業車両準備 作業車両点検 出発準備 出発 規制内進入 車両移動 停止 逸走防止	車両確認 作業車両準備 作業車両点検 出発準備 出発 規制内進入 車両移動 停止 逸走防止	作業中に機械が故障し、思わぬケガをする	△	×	4	作業前に必ず道具、工具、機械類の点検を行う 刃の可動部、連結部はレンチ等の工具にて緩みが無いことを必ず確認し、始動確認を行う。	○	○	1				
			協議承認日以前に作業を行ってしまう	△	×	4	作業日と協議日を照合し、確認を行う	○	○	1				
			小型移動式クレーン及び高所作業車作業手順書に則る											
			電池切れて緊急時、逃げるのが遅れる	△	×	4	毎日動作確認をし、電池が減ったら交換する	○	○	1				



25.車両回送手順書に則る

使用機器等	車両から必要機械を降ろす	①手袋などを着用して ②手・指が挟まれて気をつける。声かけ、合図をして	①荷台から飛び降りて怪我をする ②手・指が挟まれて怪我をする	△	△	3	無理な搬出をせず、サイドカバー・タイヤ等安全な足場から車両に正対して昇降する。飛び降りない。	○	△	2	
作業車両配置	高所作業車を据付け、足場の養生を行う	高所作業車手順書に則って	高所作業車から誤って転落する	○	×	3	高所作業車乗車時は必ず落下防止対策器具を使用する	○	○	1	
はつり工	壁高欄全体を打音点検し、不良箇所をマーキングする	道具の落下に十分注意して	上方より道具やはつりがらを落下させる	△	△	3	落下防止ワイヤーを道具に付けて、上空監視を付ける また、メッシュシート等で作業面を囲う	○	○	1	
	機械を使用し、はくりやひび割れ部分を除去する	保護具を着用して	発生した粉塵が身体に入り被災する はつりガラが飛散し一般車両にあたる	△	×	4	保護マスク・かぶりを着用して作業を行う シート等で養生を行う	○	○	1	
	サンダーを使用してコンクリート面のクレンを行う	保護具を着用して	素手で作業を行い、身体を損傷する	△	△	3	手袋、ゴム手袋等適切な保護具を着用する	○	△	2	
防錆処理工	ワイヤーブラシ、サンダーを使用し鉄筋の錆を除去する	保護具を着用して	発生した粉塵が身体に入り被災する	△	×	4	保護マスク・かぶりを着用して作業を行う	○	○	1	
	刷毛を使用して、十分に防錆塗料を塗布する	保護具を着用して	塗料揮発剤を吸引し、被災する	△	×	4	保護マスク・かぶりを着用して作業を行う	○	○	1	
断面修復工	欠損断面をコテ等を使用して断面修復材にて埋め戻し復旧する	道具や材料の落下に十分注意して	上方より道具や材料を落下させる	△	△	3	液状の材料を使用する際は、必ず足元、欄の養生を行う	○	○	1	
HBシート 張付け工 ※プライマーは 12時間養生	プライマーを塗布する	塗布面に均一に	プライマーが上方より飛散し一般車両にかかる	△	△	3	シート等で養生を行う	○	○	1	
	シート貼付用の接着剤を塗布する	塗布面に均一に	塗料揮発剤を吸引し、被災する	△	×	4	保護マスク・かぶりを着用して作業を行う	○	○	1	
	接着剤が乾く前に三軸シートを貼り付け、再度接着剤を塗布する	シートは10cm以上重ね	接着剤が肌に付着しかぶれをおこす	△	△	3	場合によっては保護クリームを手や顔に塗っておく	○	△	2	
仕上げ工	仕上げ用塗料を2回塗りにて塗布して仕上げる	刷毛むらが出来ないように均一に	接着の隙間に水や風が浸入し シートの浮きや飛散が発生する	△	△	3	場内確認時に再度貼付を確認する	○	△	2	
片付け	養生材や道具を片付ける	車線側、他の作業員等十分周囲に注意して	片付け作業やクレーン操作作業が重複し 作業員同士や、クレーンとの接触を起こす	△	△	3	職長は必ず場内全体を監視し、 全体の動きを指示しながら片付けを行う	○	○	1	
	清掃道具で場内清掃を行う 場内状況及び清掃状況を確認する	車線側への飛散に十分気を付けて 使用道具や、検測道具など忘れ物の無いように	掃き掃除やプロワー使用の際、走行車に気づかず 清掃物が飛散し、接触する	△	△	3	職長は必ず場内全体を監視し、 警笛等を用いて合図をしながら清掃する	○	○	1	
現場離脱	25.車両回送手順書に則る										
帰着・駐車	25.車両回送手順書に則る										
後処理	運転日報・車両使用日報を作成する	責任者への報告・確認も忘れずに	/	/	/	/	/	/	/	/	
特記事項	1人作業	原則1人作業はしない。やむ終えず1人作業をする場合は現地にてKYを実施し、作業員同士目につく範囲内で作業を行う。尚且つもしもの時の連絡体制を事前に構築しておく。									
	台車を使用する場合	台車を使い小運搬を行う時は、台車の逸走による車両等への接触に注意すること	台車は自動ストッパー機能付とする	台車から離れた瞬間に台車が逸走し走行車両と接触する	△	△	3	使用しない時は裏向きにし、G外側まで走行車両から遠い位置に仮置き。強風の場合はウェイトを置く。	○	○	1